

Family Support Team の取り組み

Family Support Team (FAST)リーダー

小児科部長兼周産期センター新生児医療センター長
兼新生児科部長

和田 芳郎



▲FASTチーム

みなさん、こんにちは。今回は、子ども虐待(Child Abuse)(注1)への対応と当院のFamily Support Team (通称FAST)の取り組みをご紹介します。

最近、子ども虐待のニュースは後を絶ちません。毎週のようにテレビや新聞で報道されるようになりました。身近なところで見られているかもしれません。では、私たち大人にできる事はなんでしょうか。それは、私たち、子どもの周りにいる大人が、まず、気付いてあげることです。気になったら、信頼できる人と、相談してください。そして、市の健康推進課や子育て支援課、または府の児童相談所(子ども家庭センター)の行政の方々(注2)に連絡してください。行政の方々がご家族に関わる場所から、子ども虐待の対応が始まります。

本来、保護する立場の親や保護者達がなぜそのようなことを、子ども達にしてしまうのでしょうか。保護者も同じような体

用語説明

*注1：子ども虐待(Child Abuse)

子どもの人権が大人によって暴力などの様々な形で侵害される事

*注2：行政の方々

泉佐野市役所 健康推進課 又は 子育て支援課
代表：072-463-1212
(泉佐野市以外の方は、居住地の市役所へお問い合わせください)
大阪府岸和田子ども家庭センター
代表：072-445-3977



子ども虐待防止
オレンジリボン運動



験の中で成長したとか、強い育児不安が原因だったと語られる事があります。しかし、どのケースも家族背景や取り巻く環境は違って、同じように考えてよい訳ではありません。私たちが活動を通じて言えることは、本当は子どもではなく親・保護者が支援を必要としている、必要な支援の不足が、虐待に結びついていると考えられています。早く気付いてあげる事が、子どもを守る為に、一番大切です。そして、親や保護者にとっても、とても大切なことなのです。

当院では、2015年に児童虐待対策委員会が発足し、臨床現場での対応と地域行政との連携を担当するチームとして、FASTは結成されました。子ども虐待は社会的な問題でありながら、医学的には子どもの病気の発見に努めるよう指導されています。行政から、医療機関は早期な対応をしています。可能性があればその場で対応できるように、関係部署と連絡を取り合っています。ご家庭での怪我の場合も、後日、小児科外来にご案内して、当日からの体調変化についての診療に加え、育児についてのご相談や今後の事故予防の説明を行います。我々FASTチームは事故予防の再発防止だけではなく、必要とされる支援を一緒に考えていくことが使命であり、チーム活動をしています。

泉州広域母子医療センター

Sensyu Regional Medical Center for Women's and Children's Health

●周産期センター(産科・小児科)

平成20年4月より、りんくう総合医療センター産婦人科と市立貝塚病院産婦人科は一つの組織として統合されました。りんくう総合医療センターは「周産期センター」として泉州地域の産婦人科医療を担う拠点病院として運用しています。



QRコード



詳しくは
webサイトを
ご覧ください。

ご寄附のお願い

りんくう総合医療センター

<http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/about/donation/>

りんくう総合医療センターでは、皆様に安全で安心な生活をお過ごしいただけるよう地域の医療を守っています。当院の運営にご理解いただき、ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

QRコード

